



3月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

今年は厳しい寒さが続きましたが、やっと陽射しに暖かさが感じられるようになり、いつの間にか園庭の梅が五分咲きになっていました。花と蕾が付いた枝を見上げていたら、寒さで縮こまっていた肩も少し緩んだようです。

生活発表会に来て下さった皆さま、「観客」としてのご参加、ありがとうございました。

昨年3月の「ちとせだより」を読み返してみると、生活発表会のことを書いているのですが「(子どもたちが)演じる」と表現していました。言葉の選択が良くなかったな、と反省しています。というのも、子どもたちは「演じた」のではなく「表現した」からです。ストーリーに沿った役を演じたのではなく、感じたことや思ったことを表現しようとしたのです。物語に触れて自分の中に生まれた感情や、見えた風景や、嗅いだ匂いや肌触りを。生活発表会は上手に演じるためではなく、表現すること、そして表現したことが伝わったかどうかを感じることにあります。

生活発表会の成否は観客として参加して下さる皆さんにかかっている、と言えるのかもしれませんが。なぜなら、自分の感情や思いを人前で表現することに慣れていない子がほとんどですし、それが苦手な子もいます。「恥ずかしかった」発表会が終わって感想を聞かれた時、そう言った子も少なからず居ました。でもどの子も、とても嬉しそうでした。「観客」として参加して下さったみなさんが、子どもたちと共に感じて、観て、嗅いで、そして喜んでくださったからです。皆さんが喜んで顔を見て子どもたちが味わった達成感や喜びがどれほどだったか計り知れません。そして子どもたちは「自信」を一つ獲得したに違いありません。

新しい年度へ、新しい世界へ歩み出す時がもう直ぐそこに来ています。

新しい一歩を踏み出す時、不安があり、臆する心があるのが当たり前です。その時、これまでに培われた「自信」が「勇気」に形を変えて、子どもたちの心を支えてくれることでしょう。

年主題 『愛されて育つ』

<年主題聖句> 「あなた方は神に愛されている子供です」
(エフェソの信徒への手紙 5章 1節)

3月主題 『(なかまと)心はずませて』

<聖句> 「あなたの未来には希望がある」
(エレミア書 31章 17節)